

Press Release

July 22, 2020 | ID: 20-V028

ボルボ・カーズ、2020 年上半期はパンデミックによる影響を受け けるも下半期の力強い回復を期待

本プレスリリースは、7 月 21 日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カーズは本日(7 月 21 日)、新型コロナウイルスのパンデミックとその世界経済への影響を受けた 2020 年上半期の決算を発表しました。

ボルボ・カーズは、自動車市場が正常化するにつれ、下半期には事業が回復すると予想しています。

ボルボ・カーズは、2020 年上半期の売上高は 14.1%減の 1,118 億 SEK(スウェーデン・クローナ、日本円:約 1 兆 3394 億円*)、営業損益は 9 億 8900 万 SEK(日本円:約 118 億円*)の赤字となりました。*1SEK=11.98 円で換算

上半期の売上高は絶対数で減少となりましたが、ボルボ・カーズは中国、米国、欧州の各市場でシェアを拡大し、ドイツが最も好調なマーケットの一つとなりました。また、ボルボ Recharge(リチャージ)ブランドとして販売するプラグインハイブリッドモデルの需要が 79.8%と大幅に増加したほか、オンライン販売チャネルでも消費者の関心の大きさを示すものとなりました。

中国市場では、第 2 四半期の販売台数を増加に転換し、第 1 四半期に失った台数の多くを補うことで上半期全体の販売台数をわずかに 3.0%の減少にとどめました。

米国市場も 6 月には成長を取り戻しましたが、上半期の販売台数は前年同期比 13.7%減、欧州市場では上半期 29.5%減となりました。

中国の乗用車市場は、上半期に 26.0%減少し、同期間に米国では 24.0%、欧州では 38.1%減少しました。

ボルボ・カーズ代表取締役社長兼 CEO のホーカン・サムエルソンは、「上半期に見られた落ち込みは一時的なものです。今年下半期には力強い回復が見られると期待しており、当社の電動車 Recharge シリーズは、私たちが目に見ている電動車に対する新たなトレンドに強力に対応します。」と述べました。

ボルボ・カーズの 2020 年上半期の世界販売台数は 20.8%減の 26 万 962 台となりました。これは、多くの主要市場で各政府が「ステイ・アット・ホーム」やその他の移動制限を実施し、経済活動やショールームのトラフィックに深刻な影響を与えたためです。

ボルボ・カーズは、固定費とキャッシュフローの管理に重点を置きつつ、安全かつ現実的な方法でパンデミックの影響を軽減するため、積極的かつ迅速な行動を取りました。その結果、従業員とビジネスを守ることができました。

ボルボ・カーズは、政府の支援を受けて一時的に生産工場を閉鎖し、就業時間の短縮も実施しました。その後、従業員を安全に職場に復帰させるために、様々な予防措置を講じながら速やかかつ慎重に再開しました。その結果、スウェーデンのトースランダ工場の生産停止期間はわずか 15 日間となりました。

「今回のパンデミックは、ボルボ・カーズの戦略的目標が正しいものであり、事業の変革を加速させることが長期的な成長につながるという確信を強めてくれました。」とホーカン・サムエルソンは述べ、さらに「私たちは、電動化、オンライン販売、コネクティビティに引き続き注力し、投資していきます。」と続けました。

ボルボ・カーズは、全モデルにプラグインハイブリッド車を設定している唯一の自動車メーカーです。今年後半には、ボルボ・カーズ初の完全電気自動車モデルである XC40 P8 Recharge の生産を開始します。

市場が予想通りに回復すれば、販売台数は 2019 年下半期並みに戻ると予想しており、同様の利益レベルとキャッシュフローに戻ることが私たちの目指すところです。

ボルボ・カーズの 2020 年上半期の決算内容の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン広報部

Phone: 03-5404-8611

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)